



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 株式会社アズーム 上場取引所 東
コード番号 3496 URL <https://azoom.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅田洋司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 馬場涼平 TEL 03-5365-1235
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,387	29.1	381	38.7	380	37.9	260	40.6
2023年9月期第1四半期	1,848	28.7	275	55.7	276	57.1	184	35.0

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 255百万円 (42.4%) 2023年9月期第1四半期 179百万円 (30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	44.08	43.43
2023年9月期第1四半期	31.44	30.84

(注) 当社は、2022年12月27日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	3,926	2,714	68.6
2023年9月期	3,983	2,575	64.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 2,691百万円 2023年9月期 2,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は2022年12月27日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年9月期の期末配当金及び2024年9月期（予想）の1株当たりの配当金については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,700	21.7	788	32.6	784	32.1	510	26.7	86.45
通期	10,000	20.9	1,800	40.4	1,790	39.9	1,160	32.0	196.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	6,018,000株	2023年9月期	6,017,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	118,276株	2023年9月期	118,276株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	5,899,585株	2023年9月期1Q	5,882,715株

（注）当社は、2022年12月27日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されております。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等が当社グループに与える影響は不透明であり、今後も引き続き注視し、適切な対応を講じてまいります。

当社グループの経営環境としましては、遊休資産活用事業に主として関連する駐車場業界において、インターネットを活用した月極駐車場の紹介依頼需要は増加しており、オフィスビルや分譲マンション等における駐車場空き区画の収益化に対する需要も依然として拡大しております。さらに、従来は店舗型の不動産仲介業者にて月極駐車場を探していたユーザーが、当社が運営するポータルサイトを通じてインターネット経由で流入するケースがより増えてきております。また、サービスが多様化し、インターネットを活用した駐車場状況を提供するシステム等が普及してきております。

ビジュアライゼーション事業においては、経済活動の正常化にともない、当社グループが提供する不動産画像に対する需要は回復してきております。さらに非対面での営業ツールとして、VR技術を用いたバーチャルショップの開発・制作を行い、事業規模を拡大しております。

このような経営環境のもと将来的な収益力の強化を目的として、引き続き既存社員の育成や新規の営業人員の獲得に努め、新規案件の獲得のための積極的なアプローチを行えるような営業体制の強化に注力するとともに、ベトナム子会社（AZOOM VIETNAM INC. 及びCGWORKS VIETNAM INC.）でのシステム開発・グラフィックデータ制作の体制を強化するための投資やリモート環境等の制約に関わらず営業活動を継続できるようIT面での新たな技術の開発を引き続き行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,387,251千円（前年同期比29.1%増）、営業利益は381,568千円（前年同期比38.7%増）、経常利益は380,956千円（前年同期比37.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は260,046千円（前年同期比40.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 遊休資産活用事業

遊休資産活用事業セグメントは、当社がインターネット上で運営する月極駐車場のポータルサイト「CarParking」（以下、「カーパーキング」といいます）を経由して、駐車場の紹介を行う「月極駐車場紹介サービス」と、駐車場オーナーから空き駐車場を当社がマスターリース（一括借り上げ）し、月極駐車場としてユーザーにサブリース（貸し付け）を行う「月極駐車場サブリースサービス」を中心として事業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、カーパーキングを通じたインターネット経由でのユーザーの流入増加を背景に、引き続き既存社員の営業力強化やリモート環境下での営業活動推進に努め、マスターリース台数及びサブリース台数のいずれも堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間における駐車場問い合わせ件数は57,734件となり、当第1四半期連結会計期間末におけるマスターリース台数（受託台数）は24,034台、サブリース台数（稼働台数）は22,067台となりました。あわせて、株式会社鉄壁が提供する月極駐車場特化型の賃料保証サービスの契約件数も堅調に推移しております。また、顧客による貸し会議室やジム、スタジオ等のレンタルスペースの運営をサポートするWEB予約システム「スマート空間予約」においては、広告宣伝活動の効果向上に注力した結果、システムの新規導入室数が増加しております。加えて、株式会社ダイバースは当社グループへの人材紹介を中心に事業を行っております。また、前連結会計年度より、空き家問題に対する取り組みの一環として中古住宅を取得し、収益最大化を模索しながら事業に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,333,275千円（前年同期比29.4%増）、セグメント利益は379,053千円（前年同期比37.6%増）となりました。

② ビジュアライゼーション事業

ビジュアライゼーション事業セグメントは、不動産の可能性をより視覚的に伝えることを可能にするため、3DCG技術等の専門的なスキルを活用し、建物や空間の利用方法及び完成イメージをグラフィックデータとして制作し、販売するとともに、VR技術を用いて顧客の要望に応じた空間デザインのサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、既存社員の技術力や営業力の強化に注力しつつ、多様な営業提案が可能となるように事業基盤の拡大に努めました。これにより、グラフィックデータ作成の発注元であるディスプレイ業者の景気回復と消費者行動のオンライン化に伴うVR技術の普及を背景に、事業規模は拡大しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は53,975千円（前年同期比17.9%増）、セグメント利益は2,515千円（前年同期はセグメント損失445千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,972,663千円となり前連結会計年度末に比べて84,460千円減少しております。その主な要因は、税金の納付及び配当金の支払等により現金及び預金が127,446千円減少した一方で、月極駐車場の受託台数の増加に伴い前払費用が32,267千円増加したことによるものであります。固定資産は953,364千円となり、前連結会計年度末に比べて27,455千円増加となっております。以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて57,004千円減少し、3,926,028千円となっております。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は857,442千円となり、前連結会計年度末に比べて195,135千円減少しております。その主な要因は、税金の納付により未払法人税等が185,840千円減少したことによるものであります。固定負債は354,517千円となり、前連結会計年度末に比べて418千円減少しました。以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べて195,554千円減少し、1,211,960千円となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,714,068千円となり、前連結会計年度末に比べて138,549千円増加しております。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が117,986千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を260,046千円計上したことにより利益剰余金が同額増加したことによるものであり、自己資本比率は68.6%（前連結会計年度末は64.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2023年11月10日の「2023年9月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,095,936	1,968,489
売掛金	106,638	110,797
仕掛品	1,548	1,852
販売用不動産	288,995	296,642
前払費用	535,586	567,853
その他	38,624	40,397
貸倒引当金	△10,205	△13,370
流動資産合計	3,057,123	2,972,663
固定資産		
有形固定資産	134,860	128,764
無形固定資産		
のれん	47,225	45,257
その他	249,740	294,978
無形固定資産合計	296,965	340,235
投資その他の資産		
差入保証金	200,168	209,097
その他	307,867	283,058
貸倒引当金	△13,952	△7,791
投資その他の資産合計	494,083	484,364
固定資産合計	925,908	953,364
資産合計	3,983,032	3,926,028
負債の部		
流動負債		
未払金	117,665	124,249
未払法人税等	285,233	99,393
前受収益	270,393	268,797
契約負債	95,841	97,256
賞与引当金	57,667	29,206
1年内返済予定の長期借入金	43,759	33,104
その他	182,018	205,436
流動負債合計	1,052,578	857,442
固定負債		
長期借入金	58,029	54,133
預り保証金	233,496	234,589
退職給付に係る負債	10,800	13,200
資産除去債務	52,610	52,594
固定負債合計	354,936	354,517
負債合計	1,407,514	1,211,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,804	63,825
資本剰余金	789,520	789,541
利益剰余金	1,874,058	2,016,118
自己株式	△180,516	△180,516
株主資本合計	2,546,866	2,688,969
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,494	2,482
その他の包括利益累計額合計	6,494	2,482
新株予約権	19,040	19,723
非支配株主持分	3,116	2,892
純資産合計	2,575,518	2,714,068
負債純資産合計	3,983,032	3,926,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,848,911	2,387,251
売上原価	1,073,672	1,409,874
売上総利益	775,238	977,377
販売費及び一般管理費	500,150	595,808
営業利益	275,088	381,568
営業外収益		
為替差益	1,416	—
その他	15	335
営業外収益合計	1,431	335
営業外費用		
支払利息	176	227
為替差損	—	650
その他	65	70
営業外費用合計	241	947
経常利益	276,278	380,956
税金等調整前四半期純利益	276,278	380,956
法人税、住民税及び事業税	57,393	99,613
法人税等調整額	34,088	21,457
法人税等合計	91,482	121,070
四半期純利益	184,796	259,885
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△185	△160
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,981	260,046

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	184,796	259,885
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5,147	△4,012
その他の包括利益合計	△5,147	△4,012
四半期包括利益	179,648	255,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,834	256,034
非支配株主に係る四半期包括利益	△185	△160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	遊休資産活用事業	ビジュアルライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,803,132	45,778	1,848,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,803,132	45,778	1,848,911
セグメント利益又は損失(△)	275,533	△445	275,088

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	遊休資産活用事業	ビジュアルライゼーション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,333,275	53,975	2,387,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,333,275	53,975	2,387,251
セグメント利益	379,053	2,515	381,568

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。